



JTA機内Wi-Fi限定コンテンツ「ARサービス」を全便で開始

～専用アプリケーション不要の機内ARで沖縄をアピール～

2019年9月18日

第19039号

日本トランスオーシャン航空(JTA、本社 那覇市、社長 青木 紀将)は、10月上旬より機内Wi-Fiを使ったコンテンツとして新たに「拡張現実(AR: Augmented Reality)サービス」(※以下AR)を開始いたします。

このARサービスは「探しに行こう ^{うちなへ} 沖縄の宝」と題し、「キジムナー」と「オサカナ」が案内役となり、いたづらを仕掛けながら沖縄の文化や魅力を紹介するストーリーとなっています。専用のアプリケーションや特別なアイテムは不要で、スマートフォンのブラウザベースで視聴することができます。機内Wi-Fiに接続後、専用バナーをタップし、マーカーにかざすだけでお楽しみいただけます。

※2017年11月よりジンベエジェット・さくらジンベエの2機限定で実施している「仮想現実(VR: Virtual Reality)サービス」については、今回のARサービス開始に伴い終了とさせていただきます。

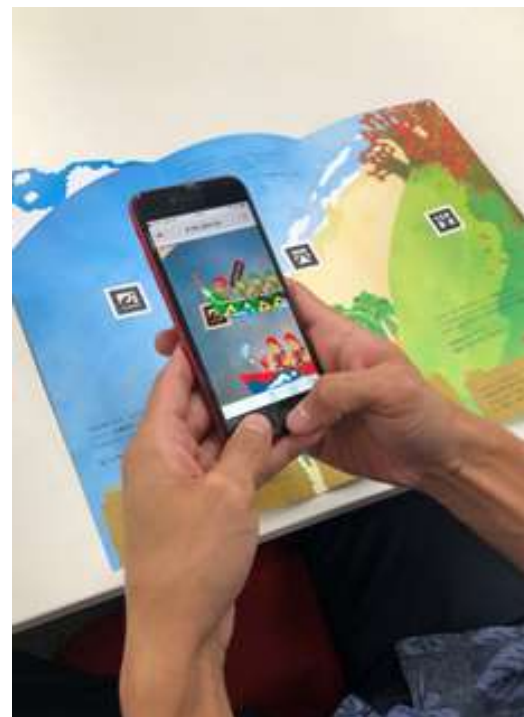
JTAはお客様に快適で楽しい空の旅をお楽しみいただけますよう、今後も新たな価値創造に向けチャレンジしてまいります。

■サービス概要

- ・開始時期: 2019年10月上旬予定
- ・対象便: 日本トランスオーシャン航空運航便
- ・内容: 機内Wi-Fi接続画面にある専用バナーをタップすることでお楽しみいただけます。マーカーは専用リーフレット、エンターテイメントガイドなどに配置されており5つのストーリー展開となっています。



専用リーフレット



ARサービス画面【ハーリー】